



賀庭寺保存会会長

田中明義さん

たなか・あきよし 1944年生まれ、樺下在住。樺下区区長・樺下行政協力員を務める。趣味は野球・ゴルフ・魚釣り

賀庭寺は平清盛と重盛の祈願寺として、千年ほど前に建てられました。以来、地域の人たちは賀庭寺を大切に思いながら、共に暮らしてきました。ことし3月、賀庭寺保存

会は賀庭寺を紹介するパンフレット・物語・紙芝居を作成しました。その旗振り役を務めたのが田中明義さんです。今では、地元の人でも賀庭寺のことをあまり知らない人も多いといえます。田中さんもその一人でした。

定年退職後、古里・荒尾に戻ってきた田中さん。区長や行政協力員として地域のお世話をするうちに、子どもとき、遊び場になっていた賀庭寺に魅了されていったそうです。

「千年前から地元の人に愛され、受け継がれてきたお寺が自分のまちにあるなんて、素晴らしいことです。だからこそ、先人の思いや残してくれたお寺を絶やさぬよう、次の世代へ受け継いでいきたいんです」

活動を始めた頃は、周りの理解を得るところから始めなければならず、苦勞も多かつ

たそうです。しかし、田中さんはたくさんの仲間のおかげで、乗り越えることができました。「地域を一生懸命に思う気持ちを通じたのだと思います」と、柔らかな笑みを見せます。

田中さんは賀庭寺を訪れる人へのガイドなど多忙な日々を送りつつも、既に次のビジョンを描いています。「賀庭寺を宮崎兄弟・万田坑・海達公子と並ぶ荒尾市の観光の目玉にしたいんです。多くの人に賀庭寺を知って、訪れてもらい、地域おこしにつなげられたら」と、瞳を輝かせます。「地域を盛り上げることで、若い人たちにも荒尾の良さを知ってもらい、住みたいと思ってもらえるまちにしたい。そのためにも、まだまだ私も現役で頑張ります」

高校を卒業してから定年を迎えるまで荒尾を離れていた田中さんは「ずっと古里に感謝の気持ちを伝えたい」と思っていました。ようやく少し恩返しができるように思います」と、微笑みます。

田中さんの古里への思いは、とどまることを知りません。



1 賀庭寺と古塔群。中世の石造物群は県指定文化財、近世の石造物群と薬師堂に安置する仏像群は市指定文化財に登録されています 2 田中さんの分かりやすく丁寧なガイドは大好評です 3 賀庭寺を紹介するパンフレットなど。同会ではイベントなどで紙芝居を読んでもくれるボランティアを募集しています